



令和5年1月20日（金）発行

# 学校だより No.14

沼田市立沼田西中学校

【学校教育目標】「高い知性、温かい心、たくましい体をもつ生徒の育成」

- 《目指す生徒像》
- 向学 ……自ら学ぶ生徒
  - 礼節 ……思いやりのある生徒
  - 進取 ……挑戦する生徒

《目指す学校像》…生徒が心から「通いたい」と思える開かれた学校

《目指す教師像》…熱意、誠意、愛情のあふれる教師

【本年度の重点目標】「**主体性と支え愛の創造～3つの気（やる気・勇気・根気）を伸ばすワンポイントアップ大作戦～**」

## 「飛躍の令和5年」、まとめの3学期！

新しい年である令和5年がスタートしました。今年は「卯年」ということで、令和5年が生徒達や保護者の皆様、地域の方々、そして沼田西中学校にとって飛躍の年となることを心より祈念いたします。

さて、学校では新年の始まりが3学期のスタートでもあります。「往く1月、逃げる2月、去る3月」とも言われるように、3学期はとても短い学期です。そんな短い3学期を充実させるため、まずは活動の基となる**健康・安全を守っていくため、新型コロナウイルス感染予防等の取組を継続・徹底しながら教育活動を充実させていきます**。各ご家庭におかれましても、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。次に、一日一日を大切に時間を有意義に使っていくことが大切です。そのために、まず各自が1・2学期の反省を生かして**3学期に重点的に取り組むべき内容を明確にすることです**。何気なく過ごしても時間は過ぎてしまいます。全ての人に平等にある時間を有効に使うためには、自分が何をすべきかはっきりさせておくことで、同じ1日24時間を有効に使うことができます。更に、学校全体では、本年度のテーマである「3つの気のワンポイントアップ」のまとめとして、**今まで以上に3つの気を生活の様々な場面で発揮し、自分自身や友達の3つの気のワンポイントアップを自覚できるようにすると、3学期のまとめに繋がります**。

学校としての3学期の取組の重点は、生徒達が3つの気のワンポイントアップが自覚できるように、**学校評価アンケートで明らかになった取組の成果と課題について、成果は更に伸ばし、課題は解決に向けて改善策に全力で取り組んでいくこと**で、本年度の重点目標の達成に繋げていきたいと思えます。令和4年度が、「主体性と支え愛」に溢れた西中の姿で締めくくれるよう、職員一丸となって取り組んでまいりますので、3学期も保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。なお、第2回学校評価アンケートでは、保護者の皆様にご協力いただきまして大変ありがとうございました。

## 飛躍の年にするための思いを込めて書いた校内書き初め大会



新しい年を迎え、気持ちも新たになっているところで、今年1年が充実した良い年になるようにとの思いを込めて、1月10日（火）の始業式の日5・6校時に、各クラスの教室等で校内書き初め大会が行われました。今年は、群馬県書道協会より「七五三木 和美先生、桑原春信先生、星野 青龍先生」をお招きし、各学年とも講師の先生から上手に書くためのアドバイスを受けながら、**1年生は「新たな決意」、2年生は「生命の尊重」、3年生は「友好の精神」という言葉を条幅に書きました**。各教室を回ってみると、講師の先生からのアドバイスを受けながら各自が真剣に取り組み、力強い作品を仕上げていました。きっと令和5年が良い年になると期待がもてました。

「初心忘れるべからず」です。書き初めをしたときの「今年1年良い年にしよう」という気持ちを忘れずに、まずは3学期を有意義に過ごし、次年度の充実した学校生活に繋がっていきましょう。

## 福祉について深く考える（2年 連続福祉学習より）

### 【福祉講話】



1月15日（火）の5校時に、社会福祉協議会の職員の方に講師として来校していただき、福祉について講話をしていただきました。「福祉」という言葉はよく耳にしますが、どんな意味かと聞かれると、説明が案外難しい言葉だと思います。その福祉について、「**ふだんのくらしをしあわせに**」と、「**ふくし**」の文字を使って分かりやすく説明していただきました。福祉についての理解が深まりました。

### 【福祉体験学習（車椅子・ブラインドウォーク）】



1月21日（木）の5～6校時に、体育館や北校舎を使って車椅子とブラインドウォークを体験しました。車椅子では、平坦な場所だけでなくスラロームやでこぼこ道、段差のある場所などを体験し、車椅子に乗っている人を気遣いながら車椅子を押しすることが大切だということが分かりました。ブラインドウォークでは、ペアを組み一人の人が目隠しをしてもう一人の人が先導役をしました。目隠しをしていると階段の上り下りや段差を乗り越えるなどがいかに大変で恐怖を感じるかが分かりました。先導役では、目隠しをしている人の安全を守るために適切な指示を出すことが大切だということが分かりました。

### 【福祉体験学習（点字）】



1月21日（木）の5～6校時に、点字の体験学習を行いました。講師に沼田市点訳奉仕会の方々をお招きし、実際に点字を書く練習をしました。最初は、小さな点をピンで刺して穴を空けるが大変でしたが、徐々になれスムーズに点字がかけられるようになり、最後には自分の点字で書いた名刺を作ることができました。点字は6つの小さな穴で構成され、決まったところに穴を空けその組合せで五十音や濁音・拗音、数字などを表すことができます。生徒達は、点字を体験したことで視覚にハンデをもった方々がどのようにコミュニケーションをとっているのかが理解でき、福祉の視野がまた一つ広がりました。

### 【福祉体験学習（インスタントシニア体験・カードで学ぶ認知症）】



1月17日（火）の5～6校時に、体育館と柔道場に分かれてインスタントシニア体験とカードで学ぶ認知症を行いました。インスタントシニア体験では、体に用具を付けて高齢者の体の動かしづらさを実際に体験するとともに、高齢者の介助も経験しました。カードで学ぶ認知症では、認知症の種類や具体例などを学び、認知症の正しい知識を身に付けました。実際に高齢者の方の体の動かしづらさなどを体験することで、高齢者の立場に立った福祉について深く考えることができました。

## 沼田市全体でいじめ防止について考える（沼田市いじめ防止子ども会議）



1月13日（金）の午後2時より、「沼田市いじめ防止子ども会議」が開催されました。本年度は、新型コロナウイルス感染予防対策でオンラインによる開催となり、本校からは前生徒会長の平井 音乃楓さんと現生徒会長の関 涼晟さんが参加しました。いじめ防止フォーラムの共通テーマ「私たちは、表に出せない相手の気持ちを理解し自分の行動を考えることで、お互いを大切にしよう関係づくりに取り組みます」のもと、各校の参加者が各班に分かれタブレット上で意見交流をしました。本校から参加した平井さんと関さんも、本校の取組を基にして「今後の生活に生かしていきたいこと」などについて積極的に意見を出し、いじめ防止について真剣に議論しました。今後、この沼田市いじめ防止子ども会議で話し合われた内容を本校の生徒にも広め、いじめ防止活動を益々推進し沼田西中を支え愛に溢れた学校にしていきたいと思います。

### 《コラム～校長室より・校長の独り言～》

上記の2年生のインスタントシニア体験を私も見学に行きましたが、高齢者の体験をするための用具を身に付ける時のことです。多くの方が、なかなか上手く用具が付けられなくて悪戦苦闘していると、どのペアも相手の人が一生懸命に用具を付ける手伝いをしていていました。福祉学習の中で「支え愛」が発揮されていて、とても嬉しくなりました。



